

2009年1月16日

株式会社クレハ

製造力強化運動

「クレハ・パワーファイブ」の実施について

当社は、2008年度から中期経営計画「中計GG」を推進中ですが、この「中計GG」を着実に達成するためには、盤石な製造インフラの構築が必要不可欠と認識しております。「中計GG」の達成に向けた施策のひとつとして、本年1月より製造力強化を図るための運動「クレハ・パワーファイブ」を、いわき事業所内の5工場と国内グループ会社8社において実施します。

「パワー」とは製造力、すなわち①品質力②購買・物流力③製造技術力④生産企画力⑤環境・安全力の5つ「力」を意味し、「ファイブ」とは、5つの「力」のほか、ビジネスユニットごとの品質・製造力を全社統一評価基準で5段階に格付けすることを意味します。半期ごとにその評価基準に基づき評価を行い、顕彰制度を設けます。

なお、当運動による製造費低減効果額（目標値）については、今後、各ビジネスユニットの計画策定の中で集約していきます。

運動期間は、「中計GG」の実施期間の2012年度までを目途としています。

* 「中計GG＝中計 Grow Globally」（2008年9月発表）
2012年度の定量目標 売上高2100億円 営業利益250億円

来る1月19日、いわき事業所において当運動のキックオフを行います。2009年度においては、まず、初期段階として生産革新の原点である「5S」（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）の徹底、すなわち、現場で異常・正常が認識できる仕組みを強化し、更に、「整流化」を実施し、ムダ取りを行ってまいります。そして、ムダを排除する高度なQCD

（Quality Cost Delivery）を目指し、まず各ビジネスユニットを3段階で評価することから始め、「整流化」が軌道にのる2011年度からは5段階で評価します。こうした仕組みを整備しPDCAサイクルをまわしていくことで製造力強化を図ってまいります。

* 整流化とは・・・計画通りに製造できる仕組みです。「品質は工程で造りこむ」ためには、現場で活用できるビジュアルな作業手順書が必要です。品質の定義、作業標準、標準時間が盛り込んであり、誰が作業しても同じになることを目標とします。作業手順書の集合からスキルマップを作成することも出来ます。さらに、生産計画から生産管理板（時間単位に出来高の計画と実績を表示した掲示板）を作り、可動率（必要な時に正しく設備が動く率）を100%に近づけるために、設備の予防保全（洗浄、給油、部品交換等）までが整流化の要素です。このような仕組みを構築することによって、よどみの無い品質を造りこんだ製造を実現することを目標としたものです。

- * Q u a l i t y 顧客クレームとロスを減少させブランド価値向上を目指します。
- * C o s t 原材料、仕掛品、製品、および物流費などを含む製造コストの低減を図ります。
- * D e l i v e r y 製造・物流のリードタイムの適正化を図り正確な納入を図ります。

運動の推進組織として、1月19日、「クレハ・パワーファイブ委員会」を設置します。

委員長 取締役専務執行役員 技術・研究本部長 重田昌友

副委員長 取締役専務執行役員 いわき事業所長 鈴木直哉

当運動に参加するビジネスユニットは以下の通り、いわき事業所内の5工場と国内グループ会社8社です。

いわき事業所5工場

- ・基礎化学品工場
- ・医薬品工場
- ・合成樹脂工場
- ・機能材工場
- ・炭素製品工場

国内グループ会社8社

- ・クレハプラスチック(株) 樹脂加工・販売（食品包装材）
- ・クレハ合繊(株) 樹脂加工・販売（原糸、繊維製品、成型品）
- ・クレハ エクステック(株) 樹脂加工・販売（フィルム、シート、パイプ）
- ・(株)クレハ分析センター 環境・理化学の検査分析
- ・レジナス化成(株) 樹脂加工・販売（接着剤）
- ・クレハ運輸(株) 運送業、倉庫業
- ・日本エクストロン(株) 樹脂加工・販売（成型品）
- ・クレハスタッフサービス(株) 人材派遣業、請負業

以上